



下水道事業の進捗状況と加入率はどうなっているか

片山裕治 議員



八代北部浄化センター

片山 下水道事業の進捗状況と加入率について。
建設下水道課長 進捗状況は、平成23年度末では、宮原処理区97・9%でほぼ完了、竜北処理区は69・5%です。加入状況（接続率）につきましては、宮原処理区96・7%、竜北処理区51・8%となっております。

今後の事業整備計画といたしましては、当初計画では、平成26年度整備完了を目標として進めてまいりましたが、交付金の減少により整備完了が難しい状況で平成28年度を最終年度と考えているところです。
片山 下水道加入が進まない理由を教えてください。
建設下水道課長 高齢者の方も多く、多額な費用

片山 今回の氷川まつりの時期、場所については、宮原地区の方より大変不満が出ております。「桜まつりがなくなった、楽しみにしていたのにどうして」「竜北公園は桜がある」といった声を聞きます。やはり、少し住民感情を逆なでるような計画だったのではないのでしょうか。来年から竜北公園で開催するのであ

れば、季節は秋に火の君の里を全面的に打ち出すことにより、文化財、古墳の町としてもイメージアップが図られ、農業者表彰、功労者表彰の時期としても表彰者の方々の実感があると思えますがどうですか。
町長 祭につきましては21年度から23年度まで氷川まつりという形で交互に開催、25年度以降に

いはまだ決まっていないこととご理解ください。桜ヶ丘では夜桜を楽しんでいただくために夜間照明の予算を組んでいます。
協賛事業で4月7日におやじライブを開催するというところで、実行委員会やテント代、運営に必要な経費も予算化しております。心を一つにする氷川まつりといった気持ちを大切に今後そういった方向で開催をしたいと思っております。

新幹線アンテナショップの現状と今後の対策は

有田芳人 議員



アンテナショップ 氷川のしずく

有田 新幹線熊本駅のアンテナショップ「氷川のしずく」の現状はどうか。売り上げがなかなか伸びないというような話のようですが、売り上げ実績はどうなっているか。また、今後どのような対策を考えているか。
農業振興課長 アンテナショップの売り上げ実績は、平成24年度4月から2月までで2,062万3,000円。月平均238万2,000円で、前年度比99・7%で前年度とほぼ

同じです。売り上げ目標を年間3,600万円月300万円としていたのですが厳しい現状です。開業し3年目を迎える来客者は増えていますが経営は依然と厳しい現状です。今後他店と共同で物産館まつり等を開催し、駅周辺の顧客を新たなターゲットにした販売強化を図りたいと思っております。また、店舗の賃貸料の低減など要請し、経費節減にも努めてまいります。
「氷川のしずく」は費用対効果だけでなく、氷川町のアンテナショップとして町の特産品販売だけでなく、全国にPRし、町への誘客につなげることで町全体の農業、商工業の振興を図り、町民所得をあげることを目的に開業しています。
有田 なかなか厳しいようですが、PR面からすれば小さくなる必要はないと思う。今後どのようなことをするかが一番の問題と思う。何よ

りもPRが大事、どのようなPRに力を入れるのか。
町長 まさにアンテナショップの果たす役割はどこにあるかということですが、町をPRする、情報発信を大いにやれよということだと思えます。そのうえで、経営も考え採算がとれるように工夫してまいります。
有田 農業に関する新たな組織を作っているという話がありましたが、その結果は出ていますか。また、農地利用についての組織化を進める考えと、今後特区などの考えはありますか。
農業振興課長 町内には認定農業者442名（内法人12名）、集落営農組織が14組織、農業法人が13団体、機械の利用組合が25組織あります。結果として、集落営農組織は5年以内の法人化も設立条件でしたが、法人化された組織はありません。農地の利用について、

本町において農業従事者の減少・高齢化の進行に伴い担い手が不足し、農業生産力の維持が困難とされる集落が今後出てくる恐れがあります。担い手不足が懸念される地域を対象に、新たな集落営農組織の設立が必要と考えています。法人化には町だけの支援では限界がありますので国・県の支援が必要です。県でも、農業集積加速事業において重点地区を選定し、地域計画に基づく農地集積を推進しています。交付金を受けられるメリットがあり、氷

川町として3地区を予定し、モデル地区指定を受けて進めていきたいと考えています。
有田 確かに大きな問題ですが、反当り1万5,000円ですべて使ってくれということも調査する必要がありはしないか。町がお世話する考えはないか。
農業振興課長 農地集約協力金につきましては、現在反当り1万5,000円とか2万円とかあります。県のモデル地区についても、交付金や補助金を活用しながらできればと思っています。

農業活性化対策について



機械利用組合で共同利用するコンバイン



竜北公園で賑わう氷川まつり

氷川まつり現状でよいのか

がかかる、家の老朽化で建て替え時期にかか、そういったところが結構多いと感じます。
片山 下水道完了工事においては、管を伸ばしても加入がないと町が勝手に事業を推進し、ただお金を投資していることになりかねないので積極的に加入促進をしていただきたいと思えます。
建設下水道課長 3年以内の工事完了地域の方には、個別訪問により町の補助制度を説明し加入促進にあたってはいるところ